

「新あま市民病院基本設計の概要」に関する意見募集（パブリックコメント）
の結果について

- 意見募集の期間 平成24年5月2日から平成24年5月31日まで
- 意見を提出された方 2名
- 意見数 4件

項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	屋上階にヘリポートの設置予定について ヘリポートの設置は、必要と考えます。	あま市地域防災計画において、緊急時にヘリコプターの離発着が可能な場所として建設予定地に近傍する「甚目寺東小学校」、「甚目寺中学校」が指定されており、本院としては、緊急時にヘリコプターが離着陸できる場所として同所を予定しています。
2	新市民病院の外来部門について 各部門計画において外来の待合が、少し狭く感じます。もう少し広いスペースが必要ではないかと思います。 また、2階の耳鼻咽喉科と小児科の待合が、同じところに配置されていますが、小児科受診患者の待合時に、退屈させない配慮（託児コーナーや遊びコーナーの設置）と耳鼻咽喉科受診患者への配慮をお願いします。 小児科に関しては、楽しいなどの感情を想起させるような色彩計画など心理的な配慮をお願いします。	待合スペースの面積については、現行より約1.5倍程度広い計画となっています。新病院の診察室数については、将来の診療拡充も視野に入れた設計となっています。 待ち合いについては、開院後に外来の予約診療を円滑に運用することなどにより、診察待ち時間の平準化に努めます。また、ご指摘の2階の待ち合いについても、それぞれの患者様の特性に配慮した空間形成に努めます。
3	新市民病院と東隣の甚目寺総合福祉会館（甚目寺保健センター等）との関係について 今回の市民病院内に、デイサービス機能のリハビリ室が設置されていますが、東隣の甚目寺保健センター等と積極的な関係を考えてほしいと思います。互いの施設が補完しあうような機能的なつながりを築いてほしいと思います。たとえば、そのためのスタッフが往来できる連絡通路や甚目寺保健センタ	リハビリ室については、デイサービス（介護保険法における通所介護）を提供するものではなく、あくまで医療提供用として設置するものです。隣接する保健センター等とは保健・医療・福祉の拠点エリアとして、お互いに機能を補完していくことが理想と考えております。また、甚目寺総合福祉会館は災害時の避難所に指定されていますので、災害時の連携も視野に入れ

	<p>一等の機能の見直し、建物改修も含めて検討をお願いします。</p>	<p>てまいりたいと考えておりますが、連絡通路につきましては、感染の問題などがあり想定しておりません。</p>
4	<p>新市民病院と南隣の平成プロムナードとの関係について</p> <p>施設配置計画では、南の平成プロムナードからのアプローチは、主にスタッフ専用のアプローチとなっているように思います。平成プロムナードは、たくさんの市民が毎早朝ウォーキングをしており、市民に親しまれているプロムナードでありますので、機能的、景観的な視点からも検討をお願いします。</p>	<p>平成プロムナードとの関係については、南方より徒歩や自転車で来院される方を考慮した出入口等を設ける予定であり、その部分の視認性、機能性や景観等に十分配慮いたします。</p>